

プレス発表資料

令和3年1月15日
 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

人にやさしい 499GT 貨物船に関する模型実験を公開

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所（所長 安部昭則）は、1月25日（月）に離着棧の操船支援システムを搭載した499GT模型船に関する模型実験を公開いたします。

内航船舶の離着棧操船は船員の負担が大きい作業とされています。当所では、離着棧操船時の船員の負荷を低減するための支援システムの研究開発を進めてきました。

今回の公開実験で使用する一般社団法人内航ミライ研究会と共同で開発した模型船（図1）は、船首と船尾にスラスタを搭載し、それらをジョイスティックで操作することで離着棧操船を容易にします。また、模型船に取り付けたレーザ変位計で位置を検出し、着棧位置までの距離をビジュアルに表示する支援システム（図2）や監視カメラによって安全な離着棧の実現を目指しています。

公開実験の当日は、様々な船員負荷低減技術を搭載した模型船を紹介させて頂き、小型試験水槽において離着棧のデモンストレーションを行います。参加された皆さまからのご質問にもお答え致します。

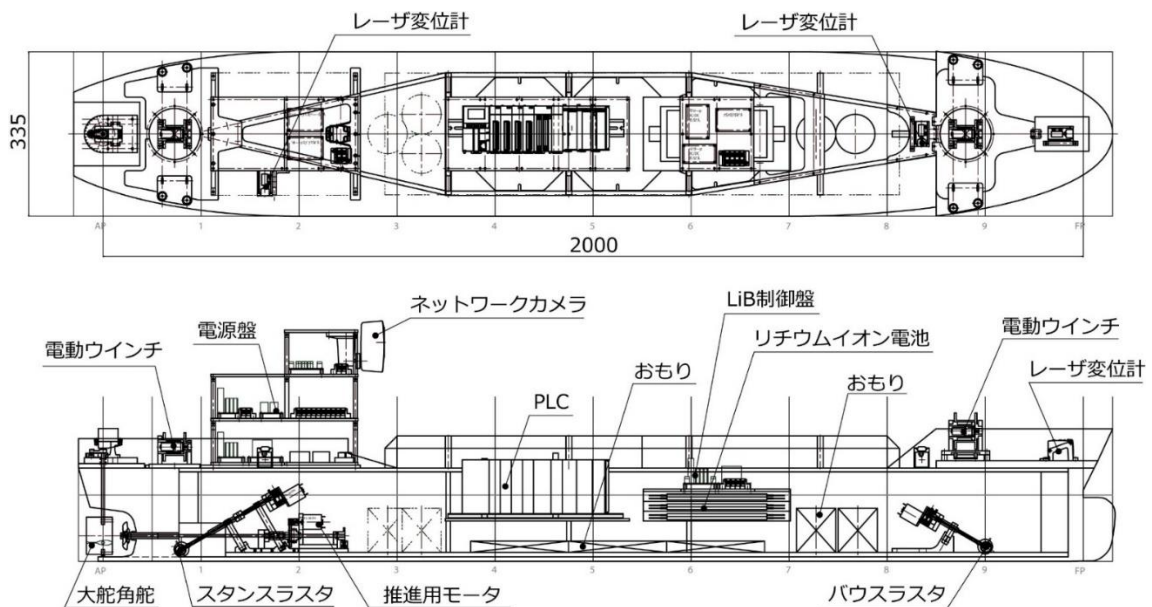


図1 499GTケミカルタンカー模型船

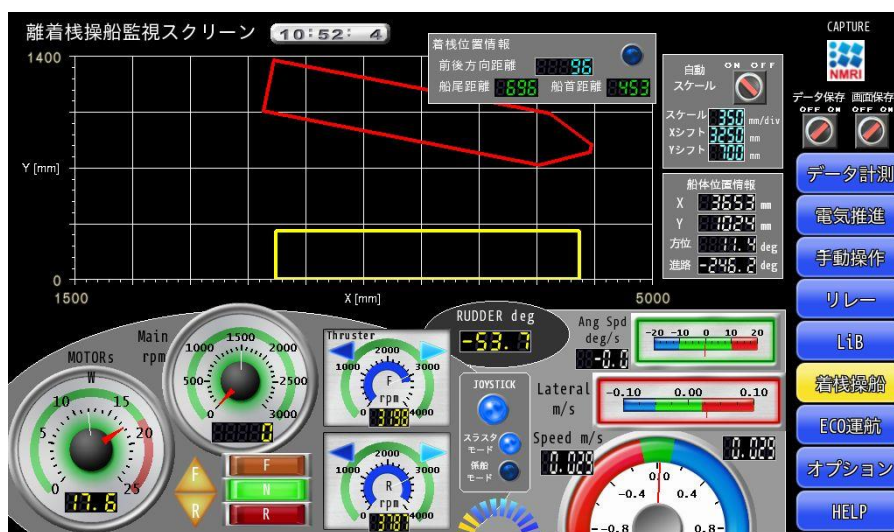


図2 離着棧操船支援スクリーン

記

1. 日時：令和3年1月25日（月）15:00～16:00
2. 開催方法：オンライン（ウェビナー形式）
ご質問される方は事前にマイクをご用意ください。
3. お申込み方法：参加ご希望の方は、弊所 HP より、事前の登録をお願い致します。
事前登録サイト：https://www.nmri.go.jp/webinar_openexperiment02.html
申し込み期限は1月21日（木）とさせていただきます。
4. お問い合わせ先：国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
海上技術安全研究所 企画部広報係 Tel：0422-41-3005 Fax：0422-41-3258
E-mail：info2@m.mpat.go.jp URL：http://www.nmri.go.jp/